



広島中央地域の小児周産期医療体制の強化に向けた取組 (広島中央地域・小児周産期医療支援講座の設置)

1 寄附講座の名称

広島中央地域・小児周産期医療支援講座

2 設置目的

広島大学に寄附講座を設置し、広島中央医療圏の急性期中核病院である国立病院機構東広島医療センターにおいて、小児科及び産婦人科領域の更なる連携を深めることにより、東広島市はもとより、広島中央地域の小児周産期領域の医療体制の強化を図るもの。

3 設置期間

令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年間）

4 寄附金額

66,000千円（33,000千円／年）

5 寄附講座の設置により目指す医療体制の姿

- ・小児周産期領域に係る医師不足の改善
(医師3名による診療体制強化、東広島市休日診療所の運営協力)
- ・小児周産期医療の課題解決に向けた市内医療機関（小児科、産婦人科）との連携モデルの構築に向けた研究
(救急医療、子育て支援、乳幼児健診、学校保健、発達障害への対応などの場面での連携)
- ・産婦人科領域における高度医療体制の構築
(産科領域における出生前診断や胎児疾患、婦人科領域における遺伝性乳がんや卵巣がん症候群などへも対応)